

『慶應マーケティング論究』
第20巻 (Spring, 2024)

目次

巻頭言	iii
目次	v
有田勝海「人は獲得した自由時間を功利的に消費するか快乐的に消費するか——多様な要因に着目して——」	1
國武淳哉「消費者の制御焦点が即配サービスの採用意図に与える影響——曜日効果に着目して——」	51
新家舞桜「醜形プレミアムの再検討」	89
坪井梨紗「自己効力感をもたらす活動が寄付行動に及ぼす影響」	107
中村友亮「ゲーム型プロモーションにおける参加条件の有無が消費者の店舗に対する態度に及ぼす影響」	127
新田奈央「価格水準の異なる3つの製品における閾値超え効果と消費者の製品選択」	149
二宮信貴「擬人化ブランドにとって最適なエンドーサーとは——FWHR比率に着目して——」	169
松崎 葵「ブランドロゴのデザイン要素と消費者反応との関係——ブランド・カテゴライゼーション理論に着目して——」	195
2022年度 三田祭論文プロジェクト・チーム「一人称動画と三人称動画、どちらの広告が有効か？——制御焦点理論に基づいて——」	235
2022年度 三田祭論文プロジェクト・チーム “The Comparison among Three Kinds of Visual Perspectives of Service Experience Vlogs”	299

中村友亮・有田勝海・二宮信貴・松崎 葵 「すいたでぬいた ～外来植物バスターズ～」(2022 年度関西大学ビジネスプラン・コンペティション KUBIC 優秀賞受賞プラン)	309
新田奈央・國武淳哉・新家舞桜・坪井梨紗 「47 都道府県総合アンテナホテル」(2022 年度関西 大学ビジネスプラン・コンペティション KUBIC 投稿プラン)	315